

# 深良用水隧道点検に参加

平成30年10月17日、深良用水水配人(芦ノ湖水利組合)による秋の深良用水隧道点検に参加しました。

深良隧道は、江戸時代(340年前)に、当時の深良村(現裾野市深良地区)の田畑に水を供給するため、約4年をかけ掘られました。全長は1280mで、精密な測量機器がない時代、峠の両側から手掘りでトンネルを掘って見事に貫通させたものです。平成26年9月16日には、国際かんがい排水委員会(ICID)より、世界かんがい施設遺産にも登録されました。

手掘りの隧道内は真っ暗で、コウモリが飛び交う中、ヘッドライトと杖だけを頼りに約1時間歩いて点検に随行しました。



深良用水水配人の紹介



深良隧道へ出発(深良隧道起点)



深良隧道終点(=深良川起点)



「深良用水300年記念碑」の前にて